

# 1 平成30年度 小城市立三里小学校 学校経営構想

## (1) 学校経営の基本理念

### ① 学ぶ環境を創る

学校は、教科の学びはもちろん、人としての生き方や人間関係を学び、自己実現に向けて成長していくための場である。そこで、私たち教師は、常に研修と実践を重ねて、児童が主体的に学び、成長していく環境（人的・物的）を創る努力をしていきたい。

### ② たくましく生きる力を創る

めまぐるしく変化する社会の動きに主体的に対応し、たくましく生き抜く力を育むには、児童一人一人に課題をもたせ、挑む経験をさせることが大切である。勇気ある挑戦の過程を通して、苦しみや喜び、達成感や感動体験を味わわせ、自立への道を歩ませたい。

### ③ 地域の中の学校を創る

学校は、長い歴史と伝統の中で地域文化の拠点としての役割を果たしてきた。今後も学校は、地域のニーズに応え、地域の理解と協力を得て、特色ある学校教育を創造していかなければならない。そのために、学校から保護者や地域に広く情報を発信すると共に、地域の人材やもの、声を学校教育に積極的に取り入れて、地域と共にある学校を創っていきたい。

## (2) 学校教育目標とそのとらえ方

### 学校教育目標

**「ふれあい チャレンジ きらりかがやく三里の子」の育成**

#### ふれあい

自分のまわりの人や自然環境、地域社会などに興味・関心を持ち、積極的に関わりながら、そのよさに気づくことができる。

#### チャレンジ

自分の課題解決や目標達成のために、難しいこと、きついこと、苦しいことにも挑戦し、最後まで全力を尽くすことができる。

また、一人ではできない課題に対して、仲間と共に励まし合い、協力し合って取り組むことができる。

#### きらり

#### かがやく

日々の生活の中で、「よい」と思うことにすすんで取り組むことができる。

互いのよさを素直に認め合い、個性や特技を生かしたことに積極的に取り組むことができる。

### (3) めざしたい子ども・教師・学校の姿

#### 【めざす子ども像】

み	みんなと なかよく ふれあう子
さ	さいごまで あきらめずに がんばる子
と	ともに よさを認め合い 学び合う子

#### 【めざす学校像】

- ◆ 学び合う喜びを育む学校
- ◆ 豊かな感性を育む学校
- ◆ 地域と共に歩む学校

#### 【めざす教師像】

- ◆ 子どもに寄り添い伸ばす教師
- ◆ やる気と元気にあふれた教師
- ◆ 保護者や地域にかかわる教師

### (4) 学校づくりの基本方針

- I 小さな学校の大きな活力を引き出す
  - 学級集団と縦割り班活動の活性化
  - 全児童・全教職員による組織力
- 2 地域の中の学校づくり
  - 学校行事や体験活動を通して、子ども・教職員・保護者・地域をつなぐ学校
  - 子どもに「地域のひと・もの・こと」のよさを感じ取らせる学校
  - 地域との協働関係を常に見直し、改善していく学校

### (5) キーワード

『継続』 『徹底』 『挑戦』 『創意・工夫』

全ての職員が、それぞれの立場でできるパフォーマンスを発揮する  
三里だからできる教育、三里ならではの教育を広げていく

### (6) 具体的な取り組み

- ① 確かな学力の定着
  - 校内研究の充実（国語科「書くこと」指導を中心に）
  - スキルタイムの活用
  - 家庭学習の徹底
    - ・ 家庭学習十カ条 ・ 自主学習のポイント活用
  - 読書活動の充実
    - ・ 家読の推奨（「はっぴいぶっく」「読破賞」の取組）

- ICT 利活用教育の充実
  - ・ 電子黒板、タブレット PC の有効活用
- ② 人間性豊かな心の育成
  - 人権・同和教育の推進
    - ・ 支え合う学級づくりと「人権教室」の内容充実
  - 道徳教育の実践と充実
    - ・ 「教科としての授業づくり」の工夫
  - 特別支援教育の充実
    - ・ 専門機関との積極的な連携とインクルーシブ教育研修
  - いじめ・不登校を出さない取組
    - ・ Q-Uテスト結果の利活用による学級集団力の向上
    - ・ 「心のアンケート」「心と体のポスト」の活用
    - ・ いじめ0宣言の見直し
  - 明るくあいさつ・正しいことば遣いの徹底（「ぼかぼかの言葉の木」）
- ③ たくましい体の育成
  - 健康・安全教育の充実
  - 基本的な生活習慣の育成
    - ・ 「早寝・早起き・朝ごはん」
    - ・ 家庭教育指針の活用
    - ・ TV、ゲーム、メール4ない運動
  - 食育・給食指導の充実
  - 縦割り班による共遊の工夫
  - 朝ランニングの取組と外遊びの推奨
  - 徒歩による登下校

## （7）本校教育の特色

- ① 地域連携の推進による共育
  - 「三里ふれあい自然塾」活動の推進（小4から中3までの様々な体験活動）
  - 学校行事と地域行事の共同開催（三里校区大運動会・三里フェスタ）
  - 育友会・青少年育成会・三里まちづくり協議会・その他地域の組織との連携推進
- ② 縦割り活動による豊かな人間関係の育成
  - 縦割り班集会（毎週金曜日業間）と共遊
  - 縦割り給食（毎週月・水・金）
  - 縦割り掃除（毎週月・火・水）
  - その他の行事（一年生を迎える会、三里ウォーク、校区民運動会、クリーン大作戦等）
- ③ 幼保小連携・小中連携によるなめらかな接続
  - 年2回以上の「幼保小連絡協議会」の開催
  - 三里保育園との連携の推進
  - 小城中学校との相互参観や情報交換、体験入学などの交流  
《義務教育9年間を見据えて》
- ④ ボランティア活動
  - 毎週木曜日の通学路ゴミ拾い
  - ペットボトルキャップ集め
  - 縦割り班によるクリーン大作戦（11月）
  - 募金活動

- ⑤ 読書活動の充実
  - 「みさとはっぴいぶっく」の取り組み（誕生月に本の贈呈）
  - 「家読」の勧め
- ⑥ 立腰教育の実践
  - 毎朝、全校での立腰タイム
  - よい姿勢の保持と集中力向上

## （８）学校運営の工夫（プロジェクトによる学校運営）

3つのプロジェクトチームを編成して、学校運営を進めていく。

小規模校であることを活かして、個々の職員がそれぞれの役割を担う努力をすると共に、「全職員で全児童を育てる意識」で課題をとらえて、小学校6年間を見据えた系統立てた指導と個々の実態に応じた支援の工夫を組織的に進めていく。

- ① 学びプロジェクトチーム 「基礎・基本的内容の定着と学習習慣の確立を図る。」  
校内研究を推進し、自分の考えを進んで表現するための「書く力」を育む指導の工夫を図る。また、思いや考えを表す基盤となる言語感覚を豊かにする読書活動を推進する。  
スキルタイムや家庭学習の充実・徹底により、基礎・基本的な内容の定着と共に、主体的に学びに取り組む態度を育てる。
- ② 体験プロジェクトチーム 「自主・自発的な態度と実践力、社会性を育む。」  
総合的な学習の時間や三里ふれあい自然塾での実習園栽培活動を通して、自主・自発的な態度と課題解決にあたる実践力を育てる。
- ③ 心プロジェクトチーム 「ゆたかな心、やさしい心を育む。」  
日常的な縦割り活動を通して、児童が互いに思いやりをもってかかわる人間関係をつくることで、集団や自己の課題解決に対して、自主的かつ協力的に取り組む力を育む。  
また、全職員で全児童の活動を細やかに見守り、いじめ・不登校の未然防止・早期発見に努める。

## （９）職員の服務等について

- ① 業績評価を活用し、計画的な面談を実施することにより、各自が目標と使命感と誠意をもって業務に取り組む意識をつくる。
- ② 報告・連絡・相談を迅速かつ丁寧に行い、情報の共有化を図る。
- ③ 職員が業務記録票を月末に提出し、業務実態を明らかにして、校務の分担見直しや、勤務時間の適正化を図る。
- ④ 様々な学校の危機に対応できるように、研修や訓練を実施して、緊急時の避難経路、保護者連絡方法の確認、校区安全マップの更新等を行う。
- ⑤ 笑顔と会話と余裕のある職員室づくりに努め、個々がストレスをため込むことのない職場環境をつくる。
- ⑥ 個々が常に教職員として服務規律を守ることを自覚し、保護者の信頼を失墜させる行為（飲酒運転、交通事故、ハラスメント等）を生み出さない職場環境をつくる。